



口腔機能低下症予防や機能回復で大切なこと

○全身の衰えと関係する口腔機能低下症

口腔機能の低下は全身との関わりが深いものです。

ヒトは歳を重ねると全身の筋肉量が少なくなり、それに伴って口腔にかかる筋肉も弱まり、筋肉の低下を招きます。筋力が弱ると、運動や日常的な動作も億劫になり、外出や人とのコミュニケーションも減少します。このような状態になると食事量が減り、体重の減少やひいては低栄養も引き起こしてしまいます。体の衰えは口腔機能の低下も意味します。

○歯科医院での定期検診が予防の一歩

ヒトは口から栄養を摂取することで、健康を維持します。また、食事は人生の楽しみであり家族や友人たちとのコミュニケーションの機会は、QOLの向上に欠かせないものです。

しっかりよく噛む習慣により、口腔機能の低下を予防することができます。したがって定期的に歯科医院で口腔内のチェックを受け、歯周病や義歯の管理の際に、同時に口腔機能の検査を受けることも大切です。

○病状に合わせた機能訓練で維持・改善

舌や口唇の運動範囲を高める機能訓練や咀嚼運動、唾液腺を刺激して唾液を出やすくするストレッチなど、症状に阿波合わせたさまざまなトレーニング法があります。

口腔気の低下症は単一の病態ではありません。かかりつけの歯科医師、歯科衛生士の判断で個人に合わせた機能訓練を行うことが大切です。

症状にあわせた機能訓練をね！

かかりつけの歯科医院で

